



いのちのはじまり

子育てが未来をつくる

世界の子育て最前線！

すべての子供に、素晴らしい人生のスタートを。
 それが平和で創造的な社会を築く一番の近道。
 そのための子育ての方法は1つじゃない。
 世界中、いろんな環境下での、
 いろんな育児を見つめたドキュメンタリー。

いちんな"家族"のかたち



血のつながりがなくても親子



祖父母にも役割がある



コミュニティで支え合う



監製：エネテラ・ベネル 制作：マリア・マリーナ・フィルムズ
 提供：マリア・センリア・ソート・ビジュアル制作、バーナード・バン・リー制作、アラチ協会、ユニセフ
 1919：アショカ、世界銀行グループ、UBSオプティマス制作、ジョンソンス、ハイーズ、ナチュラ、
 アミル、ボンボン、TAMブラジル航空
 2019・宣伝：アップリンク 協力：日本ユニセフ協会
 (2016年/ブラジル/95分/カラー/16:9/DCD/原題：O Começo da Vida)



参加無料！
託児あり！

「子どもの人権広場」第27回総会記念上映会

映画『いのちのはじまり 子育てが未来をつくる』

2022年 **6月19日(日)** 13時30分～15時30分

※講演会終了後、16時30分まで総会をします。

場所：米子市文化ホール イベントホール（鳥取県米子市末広町74）

本作は、世界9カ国で家族や育児現場を取材し、さまざまな文化・民族・社会的背景における子育ての最前線取材したドキュメンタリー映画。人格の土台が形成される乳幼児期(生後～就学前)の成長で、もっとも大切なのは、大人との触れあい。血のつながった“親”に限らず、周囲の大人が乳幼児に安全で愛情に満ちた環境を与えることができれば、より良い社会を創造する未来が開かれることを伝えます。さらに、早期幼児教育の専門家たちへのインタビューを織り交ぜながら、親をはじめ子育てに関わる周囲の大人たちが、安心して育児に取り組めるような公共政策の必要性を訴えます。子どもに関わるすべての方とシェアしたい作品です。お見逃しなく。

子どもの行動の謎が解けた。
子どもは科学者だったんだ！

この映画をじっくりと十分に味わう、そんなゆたかな時間を子育てを頑張っているあなたに届けられたらと思う。

これを観たら、国は子どものための予算をもっともっと増やすべきだと思った。

子どもが幸せであるためには、子どもを育てる人自身が幸せでなければならないと、そう教えてくれる映画です。

この映画、保育園や幼稚園の研修に使って欲しい！

メモを取りたい専門家のコメントがあふれていて、見終わったとたん、今度はパートナーと一緒に観たいと思った。

託児無料

6か月～小学6年生までOK。6月14日までに右記の問合せ先へ以下の①～⑥を添えてお申込みをお願いします。

①保護者様のお名前 ②当日連絡の取れる連絡先（携帯電話番号等） ③預けるお子様全員のお名前と年齢（学年）

【共催】NPO 法人子どもの虐待防止ネットワーク鳥取（CAPTA）

【後援】鳥取県教育委員会・米子市教育委員会

【主催・問合せ先】子どもの人権広場

683-0067 米子市東町296 米子東町法律事務所内

tel. 0859-33-1019（平日9時～18時）

fax. 0859-34-0029

e-mail chisaiouchi@gmail.com

※「子どもの人権広場」はとっとり子育て隊の一員です。